

2023 年度

ファミリー子育て何でもダイヤル

活動報告書



公益社団法人子ども情報研究センター

※日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）委託事業

I 「ファミリー子育て何でもダイヤル」(以下「ダイヤル」) 事業概要

1：事業の開始 1997年6月より開始

2：開設日時 毎週水曜日 10時30分～20時(年末年始祝祭日は除く)

3：電話番号 0120-928-238(フリーアクセス)
06-6585-9287(きゅうにはなしたくなったら)

4：体制 登録スタッフ13人 1日2～3交代制でシフトを組み実施 1日5～6名のスタッフが参加
新スタッフ4人追加登録

5：ミーティング 月1回開催

6：スタッフ研修 *新規スタッフ養成講座(4/23, 5/13, 5/21)と兼ねた

7：広報 デザイン・文言を一部修正し、カード作成(10,000枚)する

<相談概要>

	2023年度
件数	404件
実施日数	48日
総時間数	11,214分

参考

	2022年度
件数	370件
実施日数	49日
総時間数	11,070分

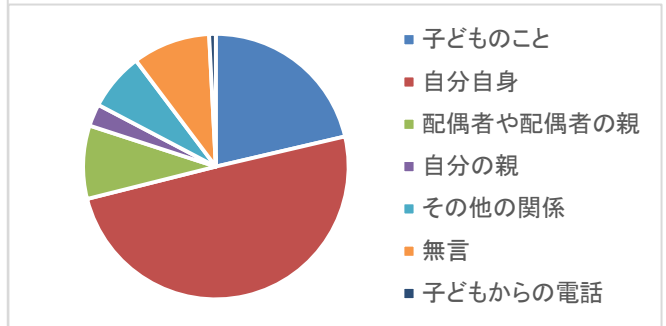
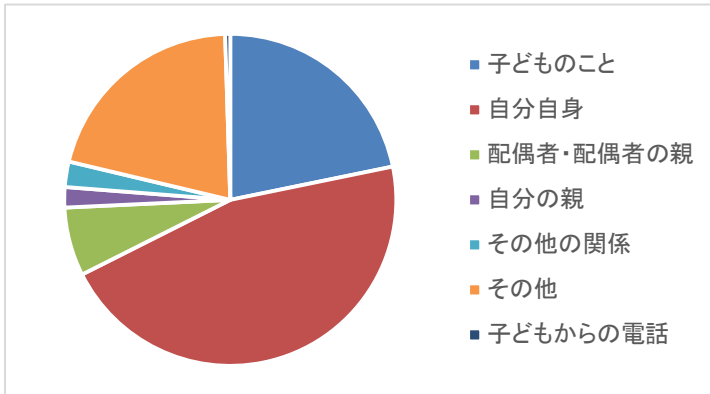
昨年度と比較してみると実施日数は1日少なかったが相談件数や相談時間総数が増加し、2021年度の400件を上回る電話がかかった。

4月・5月に実施したスタッフ養成講座にてスタッフ増員を図り、昨年度より受信体制を整えることができたことも要因と思われる。

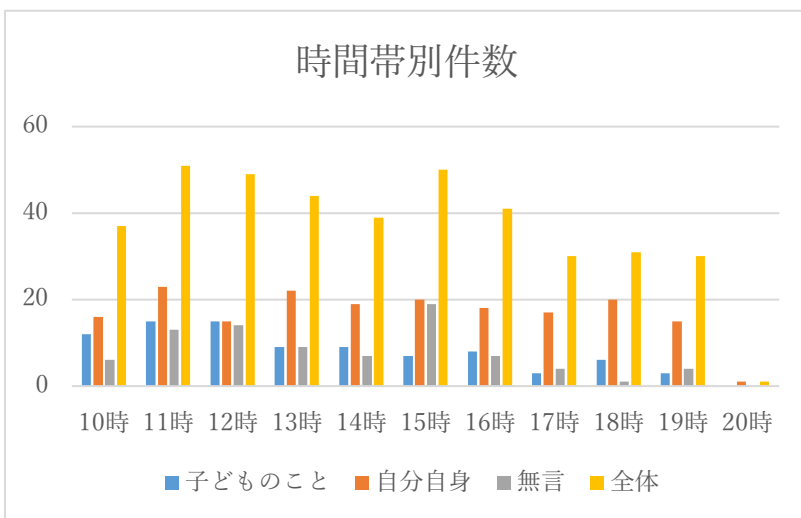
また、新スタッフ受け入れにより、これまでの記録用紙や主訴分類を見直していくこととなり、時間をかけて取り組む1年となった。

II 2023年度の分析と傾向

昨年度と主訴の割合について比較してみた。次ページ左が2023年度、右が2022年度のグラフである。



自分自身のことは2022年度とほぼ同数（2022年度184件、2023年度185件）であったが、子どもに関することは2022年度79件に対し2023年度は88件と約10件多かった。また、無言の件数が2023年度は84件で全体の21%を占めており、昨年度の9%より2倍以上増加した。



主訴ごとの時間帯別の件数を比較すると、子どものことについては夕方までに、自分自身のことは時間帯に関係なくかかってくる傾向がみられた。また、今年度の特徴であった無言に関しては、午前中や15時ごろかかることが多かった。つながると切れてしまう様子から、話を聞いてほしいと思って電話をかけて来られてもいざつながると戸惑い、こちらの第一声を聴き、話すのをためらわれる様子が窺えた。

Ⅲ 2023年度を振り返って

今年度は年度初めに新規スタッフ養成講座を開催した。現スタッフの現任研修も兼ね、他部門(子育てひろば)や他団体のスタッフも「聴く」ことを学ぶため受講された。3日間の講座を無事終了された4人が新規スタッフとして登録され、活動の見学を経て新たなメンバーとして電話を受けてくれている。

新スタッフの声を紹介します。

「ファミリー子育て何でもダイヤル」の名の通り、かけてこられた方の様々な話を聴きながら、終わる時に少しでも話せてよかったなあと感じていただけるよう、日々精進していきます。

養成講座を受講し、受け手になって1年が経ちました。幅広い年齢層の方から様々な内容のお話を聞かせていただいています。初めはその方の状況を聞こうとしてしまい、気持ちをお聞きするところまでいきませんが、先輩方にアドバイスをしていただきながら、少しずつですができるようになって気がします。電話を受けるだけではなく、個人的な悩みを聞いていただくこともあり、私にとって大切な場所になりました。話すことで自分の考えや思いを整理することができる、自分の話す声を聞くことで改めて自分の思いを実感することがあります。このような、なんでも話ができる電話はとても貴重だと思います。自分の学びのためにも、長く携わっていきたいと思っています。



「聴く」ことを学んでみませんか？

ファミリー子育て何でもダイヤルは1997年から開設しています。

子育ての不安や自身の悩みをかかえる方が安心して話せる電話で、毎週水曜 10時30分～20時まで開設しています。「子どもの人権を守ることはおとなの人権も守る」そのことを主軸に相談者の気持ちに寄り添いながら、話を聴かせてもらっています。

新しいメンバーを募集しています。3日間の講座を受けて私たちと一緒に活動しませんか？

日程		時間	内容	講師
4/23 (日)	①	13:00～ 14:20	子ども情報研究センターと子どもの権利について	田中 文子さん (子ども情報研究センター)
	②	14:30～ 15:50	聴くことについて	内山 洋子さん (子どもアドボカシーセンター-OSAKA)
5/13 (土)	③	13:00～ 14:20	多様な相談者について①	吉池 毅志さん (大阪人間科学大学)
	④	14:30～ 15:50	多様な相談者について②	吉池 毅志さん (大阪人間科学大学)
5/21 (日)	⑤	13:00～ 14:20	「聴く」ワーク①	ダイヤルスタッフ
	⑥	14:30～ 15:50	「聴く」ワーク② 今後の活動について	ダイヤルスタッフ

～電話をかけてくれたあなたと、ともに歩みたい～

子どものこと、家庭のこと、自分自身のこと、どんなことでも話せる電話です。研修を積んだ市民スタッフがあなたの声を聴きます。

親である「わたし」もその他の「わたし」も含めてまるごとの自分自身を大事にしたい。自分の人生を誰かに決めつけられたり、抑えつけられたりしたくはない。「わたし」の人生の主人公は「わたし」であることを認めてほしいし、同時に、子どもや家族も自分の人生の主人公であってほしい。こうした自分への自信・納得は、自分を受け入れ、わからないとき、助けてほしいときに支えてくれる関係・つながりがあるのはじめて湧いてくるものだと思います。「ファミリー子育て何でもダイヤル」はそんなつながりのひとつでありたいのです。電話をかけてきてくださる方々といっしょに考え、泣き、笑う関係を通して、受話器の向こう側で、少しほっとした気配、少し元気が出た気配が感じられると、私たちもほっとし、元気になることができます。受話器の向こう側の人生にふれること、それは私たちにとっても大切な出会いであり、お互いの生活を切り拓いていく力になりあえたらと願っています。

最初のひとこと「はい、ファミリー子育て何でもダイヤルです」に、あなたとの出会いを大切にしたいという気持ちをこめて。

2023年度ファミリー子育て何でもダイヤル活動報告書

編集発行 公益社団法人 子ども情報研究センター

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル5階

TEL 06-4708-7087 FAX 06-4394-8501

ホームページ <http://www.kojoken.jp>